

「美しいバラの花は野茨の根の上に咲く」

大阪府・高槻市に大宅壮一顕彰碑、建立

2009年5月30日、大宅壮一生誕の地、大阪府高槻市に顕彰碑が建立された。

同市の小笠房一様の呼び掛けにより有志の皆様が「大宅壮一顕彰碑を建てる会」を立ち上げ、関係各位の募金活動が実り完成に漕ぎ着けた。

大阪府高槻市富田(とんだ)町
6丁目20番地10番、生家近くの
府道脇に、高さ1.4メートル、
巾2.7メートルの自然石が設置
され、黒御影石の銘板に直筆の
碑文が刻まれている。(写真)



(写真提供「大宅壮一顕彰碑を建てる会」)

「美しいバラの花は
野茨の根の上に咲く」
(大宅壮一)

大宅壮一自身、この言葉について以下のようにコメントしている。

戦争中から戦後にかけて、百姓仕事をしているうちに、ふと思いついた言葉である。地方で不完全な教育を受けた者が、都会に出てくると、一時はかなわないと思うことがあっても、しばらくすると底力が出てきて、都会に生まれ、都会に育った者よりも、大きな仕事をするばあいが多い。その代わり、いつのまにか、もとの野茨にかえってしまうこともある。(『家の光』1958年10月号所載)

“雑草主義”を標榜し、在野50年、ジャーナリズムで活躍した人物にふさわしい言葉である。生誕110年、死後40年に先立って建てられた碑は、故郷の地で道行く人々に末永く語りかけることだろう。

死の翌年、1971年12月22日、菩提寺の鎌倉市・瑞泉寺境内に大宅一門のノンフィクションクラブと昌夫人はじめ遺族が建立した大宅壮一評論碑(銘文は「男の顔は履歴書である」)とともに生前の活躍を後世に伝えるにちがいない。

アクセス 大阪府高槻市富田町6-20-10(阪急富田駅・JR摂津富田駅下車)